

2023年5月17日

## 住友理工、人とくるまのテクノロジー展 2023 に出展

～CASE 関連「センシング」「熱マネジメント」「水素デバイス」領域の製品を出品～

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 執行役員社長：清水和志）は、5月24日（水）からパシフィコ横浜（横浜市西区）で、7月5日（水）から Aichi Sky Expo（愛知県常滑市）で開催される「人とくるまのテクノロジー展 2023」に住友電気工業株式会社（大阪府中央区）、住友電装株式会社（三重県四日市市）と3社共同で出展します。



電気自動車（BEV）の拡大や、自動運転技術の進歩など「CASE<sup>1</sup>」への取り組みが加速し、自動車産業が大きな変革期を迎える中、当社はコアコンピタンスである「高分子材料技術」「総合評価技術」を駆使し、新たな製品や材料の研究・開発に積極的に取り組んでいます。

本展示会では、特に「C：Connected」「A：Autonomous」「E：Electric」に関わる当社グループの製品を展示します。

「Connected」「Autonomous」に貢献する製品として、センシング領域からは、「ドライバーモニタリングシステム」を出展します。「Electric」に貢献する製品では、熱マネジメント領域の、「薄膜高断熱材：ファインシュライト」「遮熱断熱フィルム：リフレッシュイン」「電池セル間断熱材」を出展。そして、水素デバイス領域からは、「FCセル用ガスケット」を展示予定です。

<sup>1</sup> 「C：Connected（つながる）」「A：Autonomous（自動運転）」「S：Shared & Services（シェアリング）」「E：Electric（電動化）」

## <開催概要>

展示会名	人とくるまのテクノロジー展 2023 YOKOHAMA
横浜展 会期	5月24日(水)～5月26日(金)
横浜展 会場	パシフィコ横浜
横浜展 ブース No.	163

展示会名	人とくるまのテクノロジー展 2023 NAGOYA
名古屋展 会期	7月5日(水)～7月7日(金)
名古屋展 会場	Aichi Sky Expo
名古屋展 ブース No.	120

## <展示品紹介>

### C : Connected、A : Autonomous 対応

#### >> ドライバーモニタリングシステム (シート一体型)

当社独自開発のセンサーをクッション形状に加工してシートと一体化した製品です。センサーで計測した座面の圧力変化のデータを取得し、生体情報(心拍成分や呼吸成分などによるバイタルデータ)が推定できます。シート型センシング機器による計測データをもとに、ドライバーの居眠りや疲労予兆検知など、乗員の異常時対応、管理者による運行支援、労務管理といったサービスへとつなげます。

### E : Electric 対応

#### >> 薄膜高断熱材 : ファインシュライト

高分子材料技術を応用し、空気が動けないほど微細な、ナノサイズの細孔を持つ高断熱フィルター(シリカエアロゲル)を塗料化。不織布、成形樹脂などの基材にコーティングすることで、静止空気以上の高断熱性を発揮します。モビリティのEV化において、車室空間の冷暖房効果を高める本製品は、電費抑制による航続距離の延長に貢献します。



#### >> 遮熱断熱フィルム : リフレシャイン

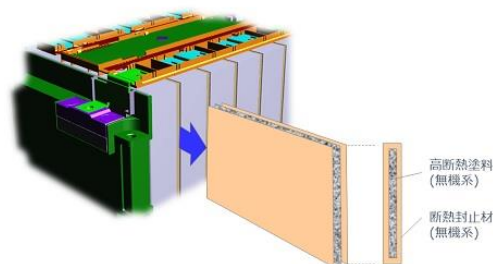
建物用は、窓に設置することで、高い透明性を維持したまま、室内に入る太陽からの熱(近赤外線)を反射(遮熱)し、冬は室内の暖気(遠赤外線)を逃しません(断熱)。遮断熱の効果により、快適性を高めるとともに、冷暖房の低減によって省エネにもつながります。

自動車用は、運転時の視認性確保と太陽からの熱(近赤外線)を吸収する遮熱機能を両立し、車内の快適性を高めます。



## >> 電池セル間断熱材

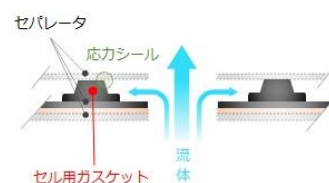
ファインシュライトのバインダー配合技術をさらに発展させ、数百℃の高温に耐えられる断熱材を BEV 用のリチウムイオン電池向けに開発。セルが異常に発熱した際に、隣接するセルへの熱連鎖を抑制し、車両火災につながるような大事故を回避する役割を担います。顧客の要求に応じて、断熱性能や硬さなどの特性を調整し、最適化を図ります。



## >> FC セル用ガスケット【初出展】

トヨタ自動車（株）の FCV：新型 MIRAI 向けに供給している製品で、セパレータと呼ばれる板状の部材や発電部材などからなるセルの構成部品のうち、水素と酸素、そして水の漏れを防ぐゴム製シール部材「セル用ガスケット」。新型 MIRAI の FC スタックはセル 330 枚が積層された構造で、これら 1 枚 1 枚に本製品が搭載されています。また、セル用ガスケットは氷点下から 100℃以上の広い温度領域において高いシール性を発揮し、FCV の長期安全性、高効率な発電性能に貢献しています。

FC スタック



以上

### ―― 住友理工について ――

住友理工は1929年に創業し、名古屋市中村区に本社を置くモノづくり企業です。2014年に東海ゴム工業から社名を変更しました。自動車（モビリティ）分野では、振動を制御する世界トップシェアの防振ゴムのほか、ゴム・樹脂ホースや、ウレタン製の制動音品・内装品を製造。自動車部品の開発で培った技術を生かし、インフラ・住環境、エレクトロニクス、ヘルスケアの各分野でも事業を展開しています。世界20ヶ国以上に広がるグローバルネットワークを活用して、人・社会・地球の安全・快適・環境に貢献する“Global Excellent Manufacturing Company”を目指しています。

リリースに関するお問い合わせ先  
**住友理工株式会社**

広報IR部 / 〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋  
tel 052-571-0259 e-mail [product.info@jp.sumitomoriko.com](mailto:product.info@jp.sumitomoriko.com) <https://www.sumitomoriko.co.jp/>